



YMCA 青少年キャンプ教室



伊東市青少年キャンプ場 2018/8/4(土)~5(日)
主催：YMCA伊東センター 後援：伊東市教育委員会・伊東ワイズメンズクラブ

西川3年 なるさわ明子

わたしが、こころにのこって、おもいでになったことは、3つあります。1つ目は、ごはんです。おこめは、かたくて、あまりくちにありませんでした。でも、作るのには、楽しかったです。ぎゅくに、おいしかった物もあります。アイスクリームです。スーパーで売っているアイスクリームより、ふわふわしていて、とてもおいしかったです。2つ目はキャンプファイアーです。火が、だんだん大きくなったのも、おもしろかったです。ほかに、ものまねも、楽しく見ることも、できました。そのなかで、よさこいがありました。よさこいは、おもったのとちがったけれど、よさこいがしれて、とてもいいきりでした。3つ目は、夜ねる時です。とてもねつきが悪く、1時間だけしか、ねれません。はじめ、スケジュール表には、6時ラジオたいそうのときいて、とてもびっくりしました。だけれど、おきてみると、6時までとてもたいくつでした。

八幡野小3年 みやじまれおん

ぼくははじめてキャンプ教室にきました。さしよはきんちょうしました。ゲームとかはんごうすいさんをやっているうちに、だんだん楽しくなりました。カレーはすごくおいしかった。夜はテントにみんなをねました。あつくてちよとねれなかった。2日目はピザとアイスクリームをつくりました。とてもおいしかった。また来年キャンプ教室にきたいです。白いぼうしの先生はちよやさしかったです。

大池小4年 杉浦沙香

よるは、ねれなかったけど、友達と仲よくできてよかったです。私は、おひるごはんのナンはあまりおいしくありませんでした。けど次に作ったアイスがおいしかったです。私は、去年も、YMCA キャンプをやりました。そのときは、4年生の人が、色々やってくれたけど、今年は、手本になるために色々自分でやりました。とくにむずかしかったのは、ダンボールでオーブンをつくることでした。だから、これからも、お手本となるように、色々してきたいです。

八幡野小3年 太田直宏

「キー」と言うのが、はじめはかんたんだとおもったんだけど、やってみたらむずかしかったです。むずかしかったけど、さい後はかんたんでたのしかったです。ナンを作るのはむずかしかったけど、カレーをつけて食べるのがおいしかったです。カレーライスにしてもおいしかったです。キャンプファイアーはおもしろかったです。アイスをつくるのはむずかしかったです。なかでもむずかしかったのはバケツをひくところです。おもくてこうたいこうたいでやって、食べてみるととてもおいしかったです。来年もさんかしたいです。

大池小4年 立石おとや

最初は、自分たちで作ったピザとナンです。しゃべりちゃったらどうしようと思っていましたが、だんだん楽しくなってきたので、しゃべりたらどうしようという気持ちがなくなって、最終的にすごく楽しくなりました。そうなったことが、うれしかったです。次は、ねる時のことです。ぼくは、まったくねられません。ねぶくろに入ってねても、あつすぎてやっぱりねられません。ねれなくて友達にも大人にもおこられました。こんどからちゃんとねようと思います。最後は、キャンプをして思ったことを書いたぼくです。最初は、文章のう力がないうらむりだとおもっていたけれど、書いてみたら文章を書くのが楽しくなってきたから、これからは自信をもって文章をいっぱい書いていきたいです。

富戸小4年 石井希空

わたしは2年目のキャンプですが、きよねんはねれませんが、今年はあつくてぜんぜんねれませんでした。キャンプファイアーでは、そくてんを上手にできたからうれしかったです。きよねんとちがうゲームがとても楽しかったです。わたしは最後のキャンプで、とてもいい2日間になりました。白いぼうしのお兄さんがクレーンのケータイカバーでした。



旭小4年 安部太陽

- ・良かったこと キャンプファイアーでいろいろなゲームをできて楽しかった。アウトドアクッキングで作ったアイスピザがおいしかった。1日目のカレーライスがおいしくて、3日ともおいしかった。
- ・悪かったこと 夜うるさくておれなかった。あまり手伝いができなかった。毎日のことだけど朝から夜まで、1日中暑かった。
- ・今後してほしいこと 今後の3,4年生に協力できるキャンプにしてほしい。楽しくしてもらいたい。暑くても元気でいられるようにしてほしい。

八幡野小4年 谷 彩咲

わたしのキャンプの思い出は、夜、みんなでキャンプファイアーをしたことです。いろいろなゲームをしたけれど、1番思い出にのこったのは、じゃんけんゲームをしたことです。たくさんの人とじゃんけんをしました。2まいしかカードを取ることはできませんでしたが、優勝できたのでよかったです。キャンプファイアーの帰りに「友情の道」を歩いて帰りました。おごくげんそうてきでした。これで、これからいっしょにきた子と、ずっと友達でいられると思いました。キャンプのお昼ごはんは、ピザもつきました。前の日のナンよりも上手に作るぞー、と思いながら、ざいしょうを入れ、ペットボトルを一升けん命あいました。暑くてたいへんだけどもかまどに近づけたら、前の日よりうまくつくれるよう、くふうしました。もう4年生で来年からこれないけれど、お母さんたちと、またたくさんキャンプをしたいです。

西小4年 長浜 辰

ぼくは8月4日にキャンプに行きました。ぼくは特にアイス作りとピザを楽しみにしていました。アイス作りでは色をまぜたりできて、カラフルでいいなと思って線で作ったけど、いちおうはじめは少なめに作ったけど、ぶつうの白の色でいやな気持ちになりました。でも食べたらおいしかったので、よかったです。次はピザ作りをしようかします。ナンと同じでかんたんでした。それできじが完成したら、ケチャップをぬって色々な物をトッピングし、オーブンの中に入れてできあがったら、切って食べます。おごいおいしくてほっぺがおちそうでした。

南小4年 大石こえみ

わたしが2日間で楽しいことは、4つあります。1つ目は、ゲームです。理由は、ものまねやボールをはこんだりダンスをしたりがたのしかったからです。2つ目は、はんごうをたいたことです。理由は、電気のせいはんきではなんかいやかったけれど、はんごうではじめてやったので、おぼえておこうとおもいました。3つ目は、キャンプファイアーです。理由は、歌ったりしよう負したりもしたけど、そのしよう負した中でかつこができたからです。もう行けないけれどぜったいにわすれたくないキャンプでした。

南小4年 柏木琉花

わたしがこのキャンプで思い出にのこった事は3つあります。1つめは、ピザをダンボールとアルミホイルで作ったことです。家では、オーブンでやっているけど、森にはガスや電気もないから、作るのに時間がかかりました。そしてまよったりしながら作ったので、1つものピザもおいしかったけど、その10倍くらいおいしかったです。そして、楽しかったです。もう1つは、1つもより外でたくさんあそんで、タオル1まいでも、なにももっていなくても、たくさんのおそびができたので、げーむやおそび道具がなくてもいろいろなあそび方があることをしました。3つめは、キャンプファイアーです。火花がパチパチと上に上がっていて、1つもみているよりきれいでした。とてもたのしいキャンプでした。

ワイルドスポーツ指導員 永野傳太郎

私はこの伊東キャンプの経験を通し、改めて自然で過ごすこと、生活することの素晴らしさを感じました。コミュニケーションゲームから始まり、ダンボールオープン作りやナン作り。はじめは心をなかなか開けず、周りの仲間に積極的に話しに行けなかった子供たちも、様々な作業を一緒に行うことで自然と会話が続くようになり、互いのことを深く知って、友だちになっていくのを、喜ばしく見ていました。自然で生活すると、こんなにも心が表に出て、自分自身をさらけ出すことができるのは、とっても素晴らしいことだと思います。私も初めての参加でしたが、たくさんの子供たちと話し、たくさんを知り、自分自身のことでも知ってもらえました。このような素晴らしいキャンプを、ともに作り上げることができたこと、体験できたことは、これからの指導を必ず良い方向へと導いてくれるものと感じています。そして、なによりも子供たちが見せてくれた笑顔が、この2日間が一番幸せな瞬間でした。自分自身もまた子供たちの素晴らしい笑顔に出会えるよう、日々頑張っていきたいと強く思いました。自分ももっともっと子供たちを喜ばせることができるように、成長して伊東キャンプに帰ってきたいと思えます。2日間という短い時間でしたが、たくさんの楽しく幸せな時間をありがとうございました。



ワイルドスポーツ指導員 斯波竜之介

昨年に引き続き2回目の伊東キャンプへの参加だった。ついた瞬間に昨年のキャンプが先週のこのように思い出され、8月が始まったことを実感した。今年は、夜、テントに泊まり、朝子供たちの声を間近に聞きながら、起床をした。というより、子供たちがはやくから騒いでいて、大きな声で目が覚めてしまった(笑)。また、キャンプや炊事、キャンプファイアーなどキャンプならではの活動を通し、子供たちとの心の距離も少しずつ縮まっていき、2日目の活動が進んで行くにつれ、別れを意識し寂しく感じた。来年、またこの伊東の地に帰ってきて、子供たちとのかけがえのない瞬間を共有したい。